

令和 5年 5月「月報」

1 はじめに

第8飛行隊の事故から1か月が経ちました。

任務に邁進される方々に敬意を表するとともに、ご家族の安寧をお祈りするばかりです。改めて、国を護るという職務に携わる尊さと、我々の側に、尊いものを尊いものとして支える心が大切なのだらうと考えさせられております。

4年度の緊急発進が778回に及んだと発表されました。そのうち74%が中国機で、5月、12月の、太平洋航行中の中国空母の艦載戦闘機等への対処も含まれています。

また、4月17日には統合幕僚幕僚監部が、太平洋で初めて航行した中国海軍2隻目の空母「山東」で10～16日に艦載戦闘機約140回、ヘリコプターが約70回の計約210回の発着艦があり、防衛省が確認した発着艦回数は7日以降で計約330回になったと発表しました。加えて、4月13日朝、北朝鮮がICBM級弾道ミサイルの可能性のあるものを発射する等、わが国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増しています。

今この時も国内外で活躍される隊員の皆様をご無事で日々の任務を全うされますようにお祈りしております。

2 防衛省・自衛隊の活動（官邸、防衛省、統幕、各自衛隊等 HP より）

（1）在スーダン共和国邦人等輸送統合任務部隊

スーダン共和国の情勢に鑑み、スーダンの在留邦人らを国外退避させるため、4月19日に航空支援集団司令官を指揮官とする統合任務部隊を編成し、21日から、C-130、KC-767、C-2 がジブチに向け出発しました。（家族会の活動参照）

（2）弾道ミサイル等に対する破壊措置の準備に関する自衛隊一般命令

4月19日に北朝鮮が軍事偵察衛星1号機の完成及び同衛星を計画された期間内に発射できるように最終準備を早期に終え、今後、連続的に数個の偵察衛星を配置して偵察情報収集能力を構築させようとする金正恩国務委員長の指示が発出された旨発表しました。これを受けて防衛大臣は、弾道ミサイル等に対する破壊措置の準備に関する一般命令を発出しました。

（2）共同訓練

ア 日米共同訓練：4月13日、相模湾において海上自衛隊の戦術技量及び米海軍との相互運用性の向上を目的として海自SH-60Kと米海軍MH-60Rにより、

海自SH-60K



対潜水艦作戦の共同訓練を行いました。

また、4月14日、日本海上空で航空自衛隊と米空軍により日米共同訓練を実施しました。強固な日米同盟の下、あらゆる事態に対処する日米の強い意志と自衛隊と米軍の即応体制を確認するとともに、共同作戦能力の更なる強化を図りました。

【参加部隊】



空自 F-15×4 (第6航空団/小松)
米空軍 B-52×2、F-35×4
KC-135 空中給油機×2



イ **日米韓共同訓練**：4月3日～4月4日、東シナ海において、海上自衛隊、米海軍、韓国海軍により、共同訓練を実施しました。訓練では、日米同盟の抑止力・対処力の強化、また日米韓の安全保障協力の推進のため、対潜戦、搜索救難訓練、PHOTOEX(*)が行われました。

【参加部隊】(1) 海上自衛隊：護衛艦「うみぎり」 →

(2) 米海軍：空母「ニミッツ」、

駆逐艦「ディケイター」、「ウェイン・E・メイヤー」

(3) 韓国海軍：駆逐艦「チェ・ヨン」、「テー・ジョヨン」、「ユルゴク・イ・イ」、補給艦「ソヤン」 5 訓練項目



(*PHOTOEX:映像や写真を用いたメディアによる発信を効果的にするため、撮影する対象やその映像や写真の構図などを決定、撮影する訓練。)

ウ **日マレーシア親善訓練**：4月5日、マラッカ海峡周辺において海上自衛隊とマレーシア海軍との連携を強化すべく、戦術運動、PHOTOEX等の親善訓練を実施しました。

【参加部隊】

(1) 海上自衛隊：護衛艦「きりさめ」 →

(2) マレーシア海軍：フリゲート艦「レキル」



エ **日ブルネイ親善訓練**：4月11日、ムアラ周辺において、海上自衛隊とブルネイ海軍との連携を強化すべく、戦術運動、PHOTOEX等の親善訓練を実施しました。

【参加部隊】

(1) 海上自衛隊：護衛艦「きりさめ」

(2) ブルネイ海軍：哨戒艦「ダルタクワ」

護衛艦「きりさめ」(令和4年度外洋練習航海(飛行)部隊)は、3月28～30日にカンボジアのシハヌークビル等でカンボジア海軍との親善行事や親善訓練を行い、4月3～5日、マレーシアのポートクラン港に寄港、4月9～11日、ブルネイのムアラ港に寄港しました。



(2) 令和5年度富士総合火力演習は令和5年5月27日(土)に実施予定です。

なお、今年度から一般公開は行わず、ライブ映像を配信する旨の発表がありました。

我が国を取り巻く安全保障環境がますます厳しく複雑になる中、防衛力を抜本的に強化していく必要があることを踏まえ、部隊の人的資源を本来の目的である教育訓練に注力するためにとのことです。

3 家族会の活動トピック

(1) 千僧駐屯地、伊丹駐屯地、「自衛官候補生入隊式」で新隊員を対面で激励

4月8日(土)千僧駐屯地、4月9日(日)伊丹駐屯地において、それぞれ「自衛官候補生入隊式」に出席し、久しぶりに新隊員を直接激励する事が出来ました。

千僧駐屯地では女性隊員19名が入隊。

伊丹駐屯地では男性隊員63名が入隊。

4年ぶりとなる外部参加含めての式典は、来賓の人数は制限されたものの新隊員ご家族も招待されてのコロナ禍



前の体制となり、両駐屯地の執行官式辞では昨今の世界情勢の中での入隊に言及され、また防衛関係諸団体に対しての感謝の言葉をいただきました。

伊丹自衛隊家族会は、両日、事前に家族会案内資料を持参し、教育隊担当者を通じて各ご家族のお手元に届けていただきました。

(2) 札幌家族会が練習艦隊の小樽寄港を出迎え

4月15日、水交会とともに

旗流信号「UW2(ようこそ)」を掲げて

大歓迎!!



(3) 隊員家族の支援に対する協力に関する協定締結(山口県家族会)

【つばさ会、隊友会、自衛隊家族会、防府南基地、防府北基地】



- (4) 第52次派遣海賊対処行動航空部隊を激励
古門沖縄県家族会会長が那覇基地を訪れ、
4月25日出発の出口2海佐以下の部隊を
激励しました。



- (5) 在スーダン共和国邦人等輸送統合任務部隊

4月21日の出発に際し、堀川愛知県家族会会長が、空自小牧基地で隊員を激励しました。撮影が制限されたため、写真はありません。

- (6)

4 事務局からの連絡

- (1) 令和5年度定期総会の概要

ア 時期：6月13日（火）13：30～16：00

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 議案

- ・第1号議案：令和4年度自衛隊家族会事業報告
- ・第2号議案：令和4年度収支計算書及び監査報告
- ・第3号議案：理事の選任

エ 報告

- ・報告1：令和5年度自衛隊家族会事業計画
- ・報告2：令和5年度分担金
- ・報告3：令和5年度収支予算書
- ・報告4：令和5年度資金調達及び設備投資の見込み
- ・報告5：第28回（令和4年度）「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- ・報告6：「問い合わせ窓口」この1年の状況

- (2) 総会委任状の送付

定款第30条に定める代理人に議決権を委任する場合の「委任状（総会委任状）」を、6月13日の総会前日（**努めて5月末日**）までに、本部事務局まで送付して下さい。

※「定款第30条に基づき、〇〇〇〇を代理人と定め～」の〇〇〇〇は、各県自衛隊家族会から総会に出席する代表者（会長等）のお名前を書いて下さい。

※「議決権の代理行使委任者」は、**総会を欠席する（議決権を委任する）正会員の代表者のお名前を書いて下さい。総会に出席する方のお名前ではありません。**

※「委任者数」は、正会員数から、総会に出席する正会員の数を引いた数を書いて下さい。（会員数1,000名で総会に1名が出席する場合、委任者数は999名）

- (3) おやばと拡販新ステップアップ作戦

皆様ご承知と思いますが、令和5年度は「おやばと拡販新ステップアップ作戦」の1年目です。各県家族会が自らの判断で5年度の目標とともに3年後の目標について

もあわせて設定し、5月13日までに本部に提出するようお願いしています。

趣旨等、詳しいことは「令和5年度自衛隊家族会事業計画／別紙第1」をご覧ください。

以上